

The Whisper from Amherst



エミリーのささやき

4月23日は何の日か御存じでしょうか。「本の日」です。もともとスペインでは聖人ゲオルギウス（カタルーニャ語名：サン・ジョルディ）の命日であることから、その日はバレンタインデーのように男女が赤いバラを贈り合うという風習がありました。またその日が文学に非常に縁の深い日でもあることから、スペインのカタルーニャ地方のある本屋が1923年4月23日に赤いバラとともに本を贈るという風習を広めたのが始まりです。

日本では日本書店組合連合会と日本カタルーニャ友好親善協会などが1986年に4月23日を「サン・ジョルディの日」と定め、2001年12月に公布された子ども読書活動の推進に関する法律10条において、「子ども読書の日」が制定されました。

‘There is no Frigate like a Book’

There is no Frigate like a Book
To take us Lands away
Nor any Coursers like a Page
Of prancing Poetry—
This Travel may the poorest take
Without offence of Toll—
How frugal is the Chariot
That bears the Human soul.



わたしたちを遠くの国へ連れてゆく
本のような船なんて、ないのです。
意気揚々たる詩のページのような
駿馬なんて、どこにもいないのです。—
(死は)どんなに貧しくても、
通行料のかからない旅。—
飾りのない四輪馬車が運び去るのです、
ひとの魂を。

(みずず書房「エミリー・ディキンソン家のネズミ」長田 弘 訳 より)

死は、地位も名声も持ち合わせていないどんな人間の魂も分け隔てなく、飾りのない四輪馬車で遠くの世界に連れて行くというのです。それがエミリーの望みでもあったのでしょうか。

でもまだ死の世界とは程遠い子どもたちには、遠くの世界に連れて行ってくれる船のような本や、駿馬のような詩のページで、未知の世界へどこまでも旅をしてほしいものですね。